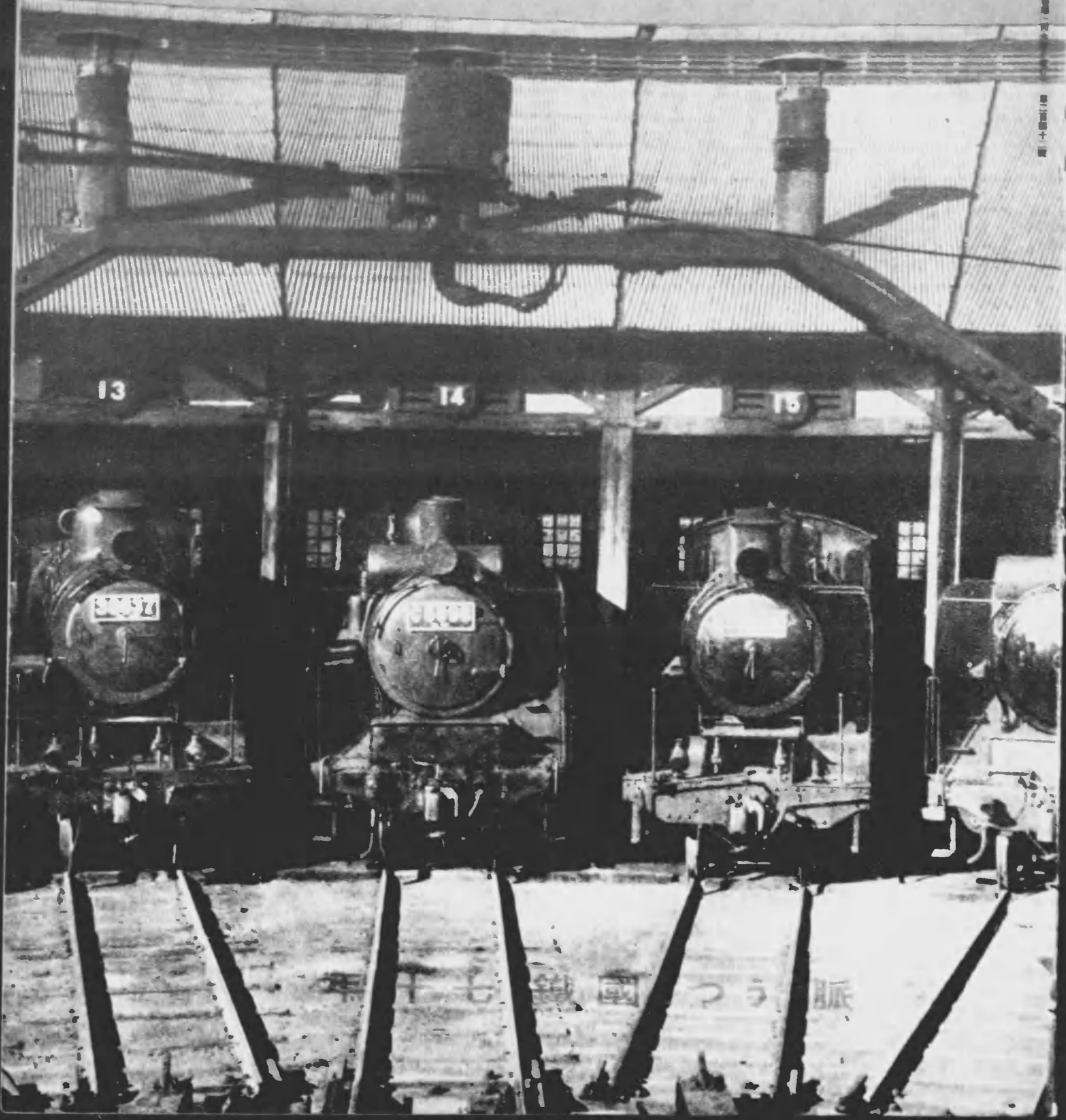


寫眞週報

情報局編輯
十月十四日 第二十四號

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9



お百姓さんと同じ心に
 雨を憂ひ 風に痛み ひでりを案じ
 日本中でそだて、きたのだ

共にそだて、知るお米の尊さ

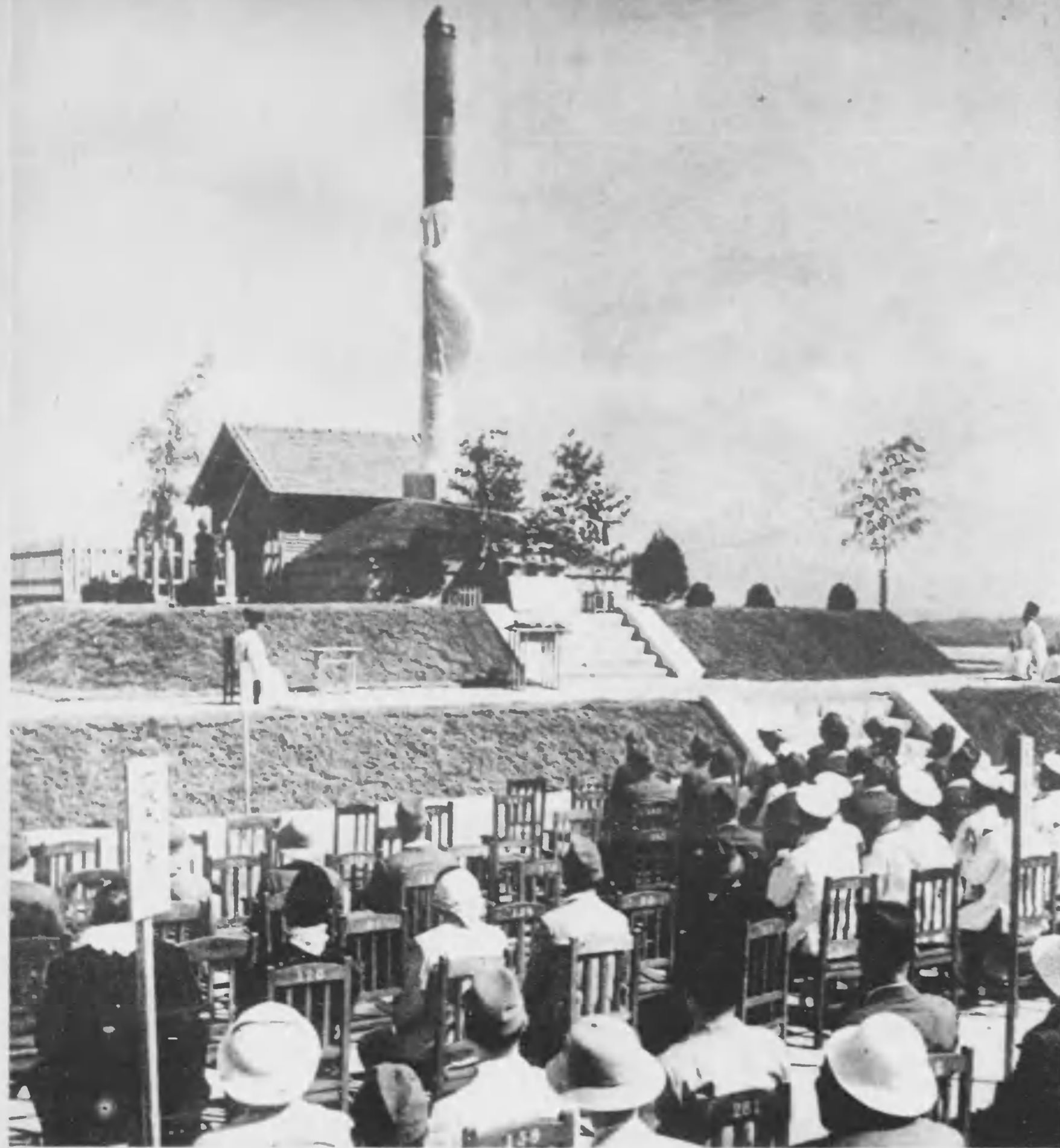
こゝに農の國日本の力強さが

さらさらと和風にゆれる垂穂

こゝに農の國日本の歡びが



「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい



塔靈忠に山威武
 島南昭

マレー攻略並にシンガポール攻略戦に勇戦奮闘し遂に護國の華と散つたわが將兵の武勳を永久に顯彰する忠靈塔が昭南島武威山(舊ブキテマ高地)に竣工、去る九月十日盛大な除靈式が舉行された。大東亞戦争の戦果が赫々とあがるとき、この大戦果の基を築いたともいふべきシンガポール攻略戦の最激戦地舊ブキテマ高地に忠靈塔が建立されたことは誠に意義深いものがある。

上忠靈塔除靈式
 下皇軍の精銳は遂にシンガポール最激戦地ブキテマに突入した。時は紀元の佳節未明であつた。

撮影 陸軍報道班

力協の出總民島に旗艦軍

戦蕩掃島スベレセ部中



↑ 風住民の清くカヌーに乗って湖水を渡る我が討伐隊

セレス島警備隊の海軍陸戦隊はこのほど中部山嶽地帯に潜んでゐる大島國軍「最後の敗残兵」の徹底に終止符を打つた。最後の敗残兵は敵聯合國側からセレス島司令官とまで祭り上げられたデ・ヨングといふ薩洲の一中尉を隊長とした数名の貧弱なものであつた。彼等は島軍のメナド奇襲と同時に奥地に逃げ込み、わが降伏勧告に應ぜず抗日を続けてゐたものである。

蘭印軍司令部は彼の抗日より「英雄」とまで稱へるデマ放逐を國內に流布し、剩さへ救助船をセレス島コロネグレ沖合にまで派遣して來たのである。しかし、島軍一度び立つてヨングを捕へ、敵のデマ宣傳合作の悲喜劇「セレス」最後の抵抗はわが陸軍隊の凱歌のうちに終幕をつけた。

↓ 残敵の根城を發見、捕捉殲滅戦を展開する



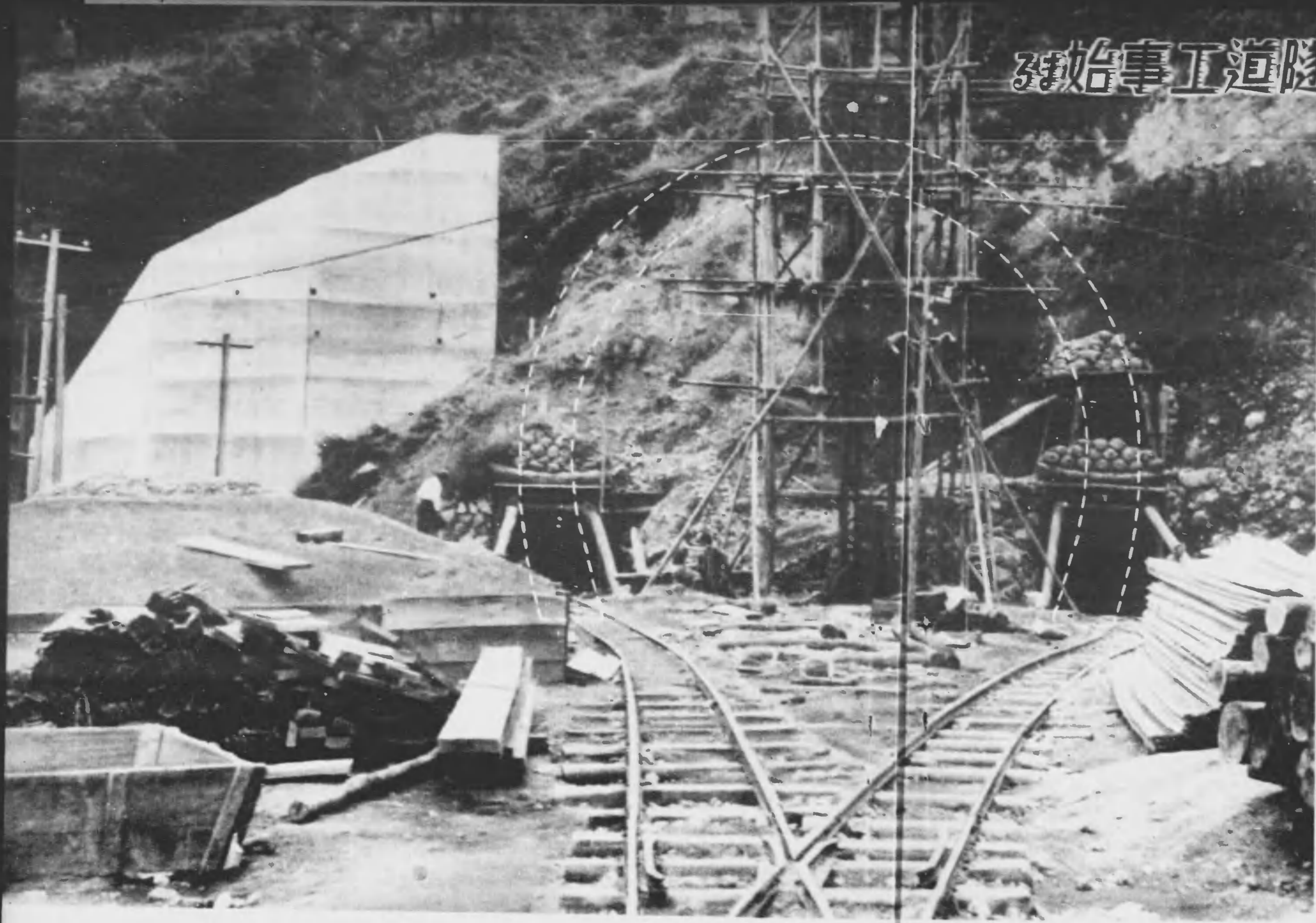
← 弾薬や食糧等の運搬に協力する原住民の群 撮影 内木海軍報道班員



⇒ 病者や皮膚病患者などの原住民に手厚い治療を施す醫務隊



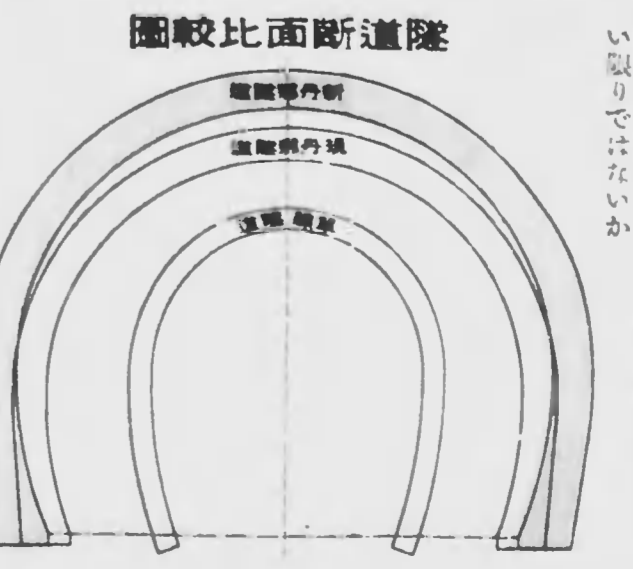
新丹那隧道工事始建



昭和十七年三月二十日、鐵道次官や野田鐵道局長、工事関係者等によつて歴史的な起工式が現場で行はれた
新丹那隧道工事の現場として野田鐵道局長は坑内の陣頭指揮に、工事進捗に精進を盡してゐる

興 陸日本の生々した動盪として常に世界無比の正確な鼓動をうつつて来た鐵道は開通以來今年ちやうど滿七十歳になつた。しかも今日の鐵道は、大東亞戦争を必勝に導く推進路だ。だからこそ國鐵三十萬の従業員は軍需資材の、重要物資の、生活必需品の輸送に文字通り晝夜兼行、打つて一丸となつて努力を傾けてゐるのだ。鐵道が計畫輸送を行つた実績を見ると、最近では殆んど完全に近い數字となつてゐる。だが輸送力には自ら限度がある。戦争の進行にも、大東亞にのびる日本の力の増進にも新幹線が是非必要になつて来るわけだ。新幹線が完成され、ばそれだけ日本の動脈は活潑に波打ち、それだけ目に見えて日本は伸びるのだ。そこで新幹線工事の最大難點とされる新丹那隧道の工事にも鐵道當局の力が入つてゐるわけだ。

現在の丹那隧道の完成には十七年の歳月を要した。この両方の口が隧道の壁になる。既に左方には入口壁面の一部が出来た。



東京下關新幹線に就いて
鐵道省建設局技師 大石重成

現在の東海道、山陽本線は國內交通、大東亞連絡交通、いづれの點からみてもわが國有鐵道中主要な幹線です。この兩本線を併せた延長は國有鐵道延長の僅か七分に過ぎませんが、その受持つてゐる運輸量はこの新幹線を計畫した當時、既に國有鐵道運輸量の三割を越す大きな量に達してゐました。従つてこの大東亞連絡輸送下益、増加の一途を辿る總運輸量中の兩幹線が負擔すべき運輸量増加の割合もまた他の線路に比べて特に著しいものがあります。

一、新幹線の必要なわけ

鐵道線路には一日に通過し得る列車の本數に自ら限度があります。即ち、その輸送力には限度があるわけだ。今この兩幹線の輸送力をみると、設備の改良その他によつて種力輸送力を擴充して来てはゐますが、今述べた運輸量の増加に伴はず、現在既に各方面に少なからぬ支障を及ぼしてゐる状態であつて、今日何等かの根本的對策を施さなければ早晩輸送力の行詰りを生ずることは明らかです。この輸送力の行詰りを打開する方策としては車輛の増備、設備の改良、代用交通路等が考へられますが、これらはいづれも大した効果は期待し得ず、結局東海道、山陽兩本線の全線に亘る線路増設による以外この兩本線の輸送力行詰りを根本的に打開する途がないのです。しかも大東亞共榮圈建設に伴ふ國有鐵道の使命、殊に東海道、山陽兩本線の重要性を考へると、この増設線路は單に輸送力の行詰り打開のみを目的とせず、更に進んで輸送の質的向上、輸送の確保等の目的を達する線路にまで進展させる必要があります。

二、新幹線計畫のあらまし

この東海道、山陽兩本線の輸送力擴充の根本方策を講ずるに當つては、その萬全を期すため各方面から全般的に考究する必要がある。そこで、政府では關係官廳の官吏や學識経験者の意見を聞き、この根本方策を尊重のうえ計畫を具體化、第七十五議會で協賛を経て昭和十五年度に着手し、總額數億の巨費を投ずる十五年間継続事業として世に出たのです。新幹線は東京市を起點として下關市に至る延長約九百八十キロ廣軌複線の線路で、東京下關間の理論的直線距離約八百三十キロに比

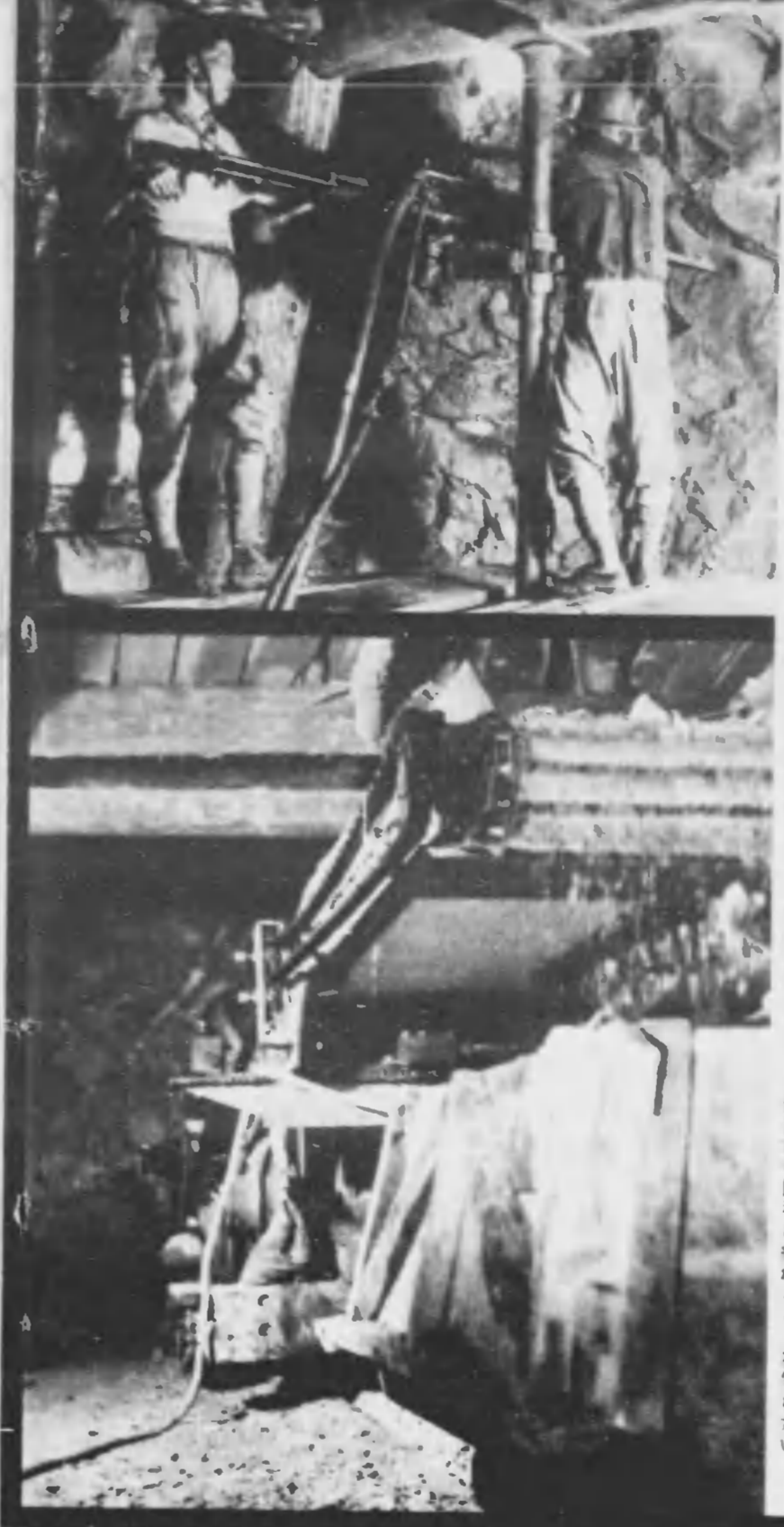
新丹那隧道工事始



■ 監督が切羽の宗氣をふるふるはせてゐる。一歩々々着實な進行だ

■ 削れた岩石は電氣シヤベルで苦もなく掘り上げられトロリ流れ込む

■ レールが又進み、坑木が又進んだ。岩と取る苦勞者の開闢は破れることを知らぬ



べて約一割八分伸びますが、現在延長約一千百キロに比すると一割二分方短縮される見込みです。

この線路上を高速度の列車が集中運轉され、到達時間の目標を東京、大阪間四時間半、東京、下関間九時間運轉に置いてゐます。従つて現在の運轉念「つばめ」號の倍位の速度で走ることとなり、朝食を東京で夕食は下関でといった旅行が實現することになります。しかも線路と建造物の規格は鮮滿の幹線鐵道と同等、或ひはそれ以上とすることに於ては、車輛等にも現在線より數等乗心地の好いものが得られる筈です。

三、新幹線はどこまで工事が進んでゐるか

このやうに一應の計畫は樹てられてゐますが、工事の實施に當つては具體的に實施計畫及び設計を進めて施工に移らねばなりません。現在のところ線路の經過地が決定した區間は全線の約八割に及び、設計の確定をみた區間は約三割であつて、逐次この區間の用地を買収中です。

工事に當つては時局下限られた資材努力を活用して最大の効果を收めるやう、しかも新幹線全通に先立ち現在線の輸送力増強に活用し得るやうな區間は極力早目に着工するやうな區間工程を十分吟味し、現在のところ工事に着手した區間は新丹那隧道、日本板橋道(東海道線用宗野西方)、東山隧道(京都野東方)の三箇所ですが、中でも新丹那隧道は先年現在線丹那隧道の開鑿に當つて、その開工が世間でも非常な注目の的となつたものであり、新幹線もこの附近の線路選定は特に慎重を期したが、結局現在線に並行することが最良の策としてこれを採用し、工事に長期間を要する關係上先づ昭和十六年八月着手し、わが國鐵土木技術の粹を傾けて鋭意掘鑿工事中です。

年十七鐵國つう

戦と鐵道建設



■ 道鐵の戦作マルビ 雄文阪西 てし加参に隊身挺



■ わが鐵道建設に協力するビルマ人

「敵の屋根に御曹の通り鐵骨が出てゐるのは日本軍の爆撃によるのです。私は當時ビルマ鐵道の運輸監察官としてあの境に於てゐる早根の下で事務を執つてゐたのです。日本軍の爆撃と聞いて五十メートルばかり先の貨車の下へ大急ぎで逃げ込んだときは、もう轟々と爆弾の破裂する音で氣も遠くなるやうでした。暫くして飛行機も去つたので漸く氣を取り戻して這ひ出て見ると、今の今まで私が事務を執つてゐた部屋からは青白い煙が立ち、屋根はいま御曹の通り鐵骨が十二月の快晴の空に突き出てゐました。日本の爆撃機は目的物を必ず破壊し得る姿勢にまで如何なる砲火の中にも、おたかも砲火の當らない神祕の靈にでも守られてゐるかのやうに悠々と接近して來て必中の爆弾を投下するのです。私達鐵道従事員は鐵道が常に飛行機に狙はれて

ゐるだけに、日本軍の爆撃機が来たとなるとき、とても恐ろしくて仕事など手につかなくなりました。舊ビルマ鐵道従事員の一人はラングーン驛を指してこのやうに語つた。戦争になると鐵道は先づ友軍によつて破壊される。敵の攻守態勢の整備を妨げ、また道路を破壊して作戦を有利に展開するたぐひには必ず鐵道が破壊される。ラングーン驛もその一例である。ビルマの他の驛では日本軍の〇機銃隊に爆撃されて機關車は破壊され、中の機關車は脱輪して傾き、また橋内の線路は最も大切な分岐點に大穴をさけられてゐた。敵の砲火の中を忠告を行つたビルマ鐵道の要點はところどころ破壊され

てを破壊する。英軍は東亞戰線はいふ迄もなく歐戰線でも見られるやうに、妙な表現であるが、まことに退却に便れた軍隊である。ビルマでも彼等は退却に當つて少くして効果の多い方法によつて、しかも計画的に鐵道施設を破壊していつた。その方法の計画的なものには感心させられた。機關車は同一の形式を通じて同一の機械部分品を取り外し、或ひはイラワチ河の潮流下深く投げ捨て、或ひは奥地へ一と持ち去つていつた。一見、機關車は何の損傷もない、また持ち去られた部分の外は、技術的にみてほとんど損傷はない。しかしながら、残念なことにも重要な部分に於ては機關車は岩地も同様である。また無計畫な破壊は多數の破壊機關車の中からも部品を奪はれて一輛一輛は直ぐにも動かさず、或は、いづれの車輛にも同一部品が缺けてゐる

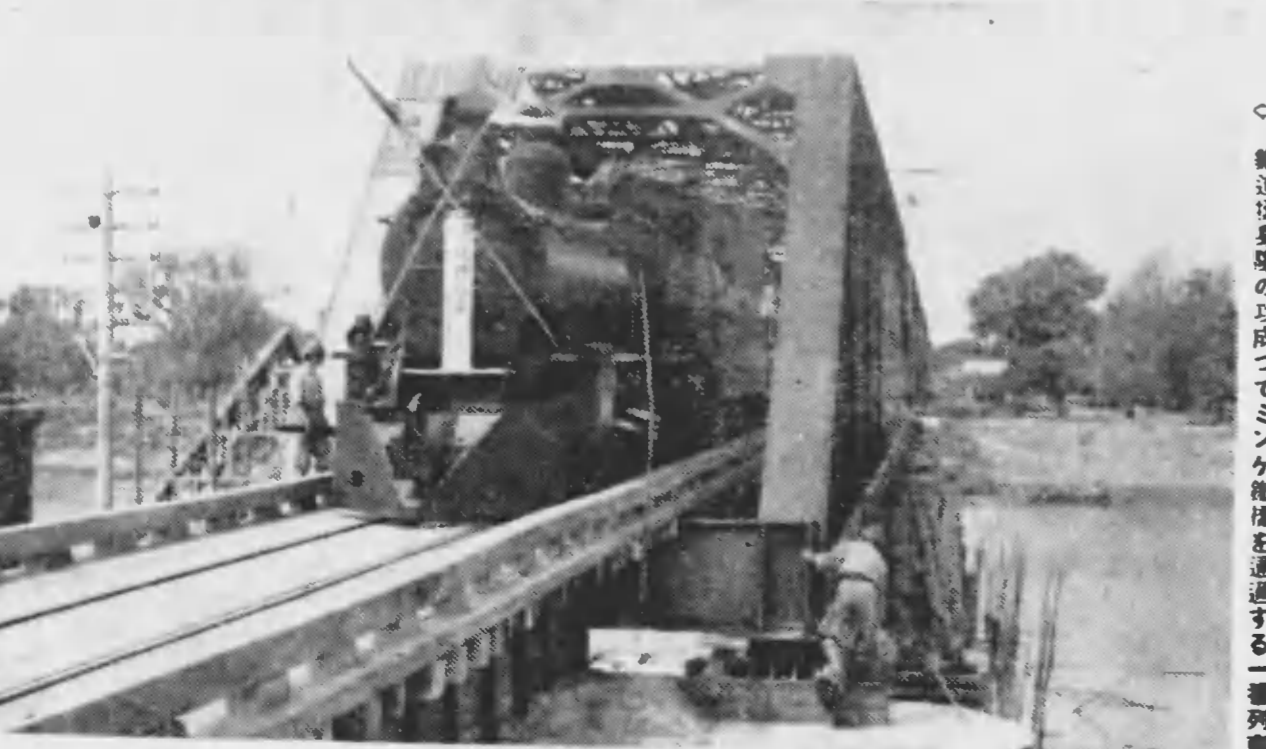
るのである。新造するか、漂流溝をくイラワチ河底深く潜水夫を入れて泥土の中から拾ひ上げるより外に途はない。作戦の進展はさうしたことに長い日子を要することを許さない。また、線路は驛内の分岐器の尖端をナセンチばかり破壊してゐる。列車が行進ひのために他線に侵入しようにも如何とも仕方がない。積卸しのために貨車を動かさうにも、また側線内の客貨車を利用するために引出さうにも、これまた新たに分岐器を取付けない限り手の下しやうがない。また水が無くても機關車は一メートルと離れ走れない。給水驛の給水槽の底には大きな穴があいてゐて、タンクの底を英兵の顔に響へれば大きな口を開いて我々をささ笑つてゐるかのやうにさへ見える。また橋水も破壊されて、まよつと手のつけやうがない。また主要の橋梁は大抵破壊さ



無様に破壊されたシタン河橋



炎熱下に築橋作業を強行する工兵隊



鐵道復身隊の功成つてミンゲ橋を通過する一普通列車

れてゐる。シタン、ピリン、アバ等の大きな橋梁のほか各地を通じて大小多数の橋梁が破壊されてゐた。機関車、客貨車を修理すべき鐵道工場も動力部分を初めとして、大部分破壊されてゐた。また神懸系統なる通信線も破壊されてゐた。従事員も増員して、作戦上、直ちに設立する者および主要な地位にあつた職員は、或ひは退職金を好みに、或ひは強力を以て拉致されてゐた。また幸ひ破壊を免れたものも撤退後、鐵道隊進駐までの間に鐵道橋内に於ける機、椅子、時計、計算器、信箋、合圖燈、線路修理器具等および持ち去り得るほどの物は責任管理者の不在のために、殆んどすべて心なき住民に持ち去られて、野舎は全くの空洞と化してゐた。

戦争となるとこのやうに鐵道は先づ支軍によつて、次に敵軍によつて、さらに心なき住民によつて、その施設は全くの骨だけ、それも壊れ／＼の骨だけとなつてしまふのが常である。破壊の手段と程度は場所によつて異なるが、支那、マレー、フィリピン、いづれの戦場でも機動源であり、兵站幹線である鐵道は敵味方を通じて常に破壊の對象となつてゐる。

英領百二十度、或ひはそれ以上のビルマの三月の曠野を體の倍にもならうかと思はれる裝備を身に付けて營々と歩兵部隊は進んでいく。素手を觸れば火傷をするかと思はれるやうな熱の固まりとなつた戦車の群もいく。航空機油、爆弾等を車上高々と積んで長く走り続ける自動車隊もある。このやうな状況を見ると、一朝も早く鐵道を復舊して交響に悩む部隊の勞苦を少くして兵力の消耗を減じ、しかも作戦の速度を速ならしめなければならぬし、またその餘力を以て住民の復歸輸送を行ひ、

なければならぬ。さて、ビルマ鐵道はかつては接獲物資の輸送幹線であり、また英國のビルマ採取の大切な交通網であつたが、特別の工事を要する大橋梁を除き、殆んど大部分の鐵道は軍の勞苦と原住民の協力によつて今や修復再建され、軍事輸送はいふまでもなく、ビルマ特産物の輸送や新しいビルマ建設に勤む住民の民需輸送に忙殺されて



再建の意氣に燃ゆるビルマ人を少しでも早く舊に復せしめなければならない。この戦場の鐵道復舊作業は作戦の常として

ラングーン

て不足するな資材と器具とを以てしなければならぬので、なか／＼容易ではない。工事用資材と器具が揃つてゐて、またかなりの日を費して修復するのならば鐵道隊も特別の苦しみはないのだが、戦場では夢にもそのやうな贅沢は許されない。しかも作戦は鐵道破壊程度には無關係かのやうに進展する。一體、鐵道輸送の戦場における使命は鐵道輸送は常に第一に接続してゐなければならぬことである。作戦地域がいかにひんまつても、その使命に變更のあらう筈はない。鐵道隊は夜を徹し日なほ足らずとして、作戦の展開とともに長大區間の鐵道の修理と運行に努めなければならぬ。陰の勞苦、鐵道隊の勞苦もなか／＼に大變なものである。

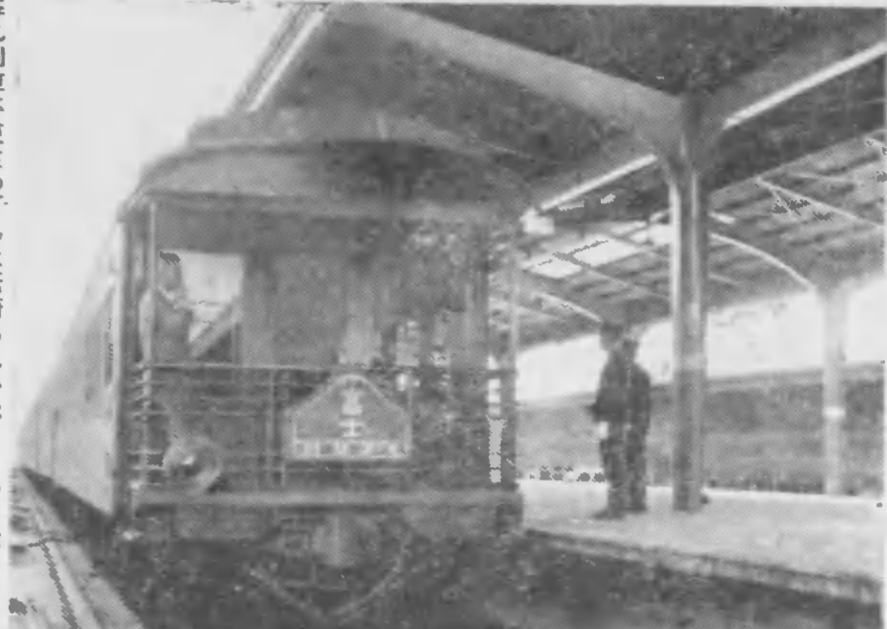
支那ではかうした作業上の勞苦の外に、常に後方擾亂に備へなければならぬ。ビルマの鐵道は正しい姿の鐵道に更生したのである。しかしながらこの内部的に整備された正しい姿のビルマの鐵道は、大東亞共榮圏の理念によつてこの指導者たる日本に固く結び付けられなければならない。かくてこのビルマの鐵道はその本来の姿に立還り得るといふものである。東西共に峻険な山嶺に包圍されたビルマの鐵道は、現在では全く孤立の鐵道である。日本の指

た。しかし、ビルマではこの作業上の勞苦に對し常に原住民の心からなる協力があつた。三月八日にラングーンは皇軍によつて占領されたが、その月半には既に舊鐵道従事員の一部が復歸して援助を申し出た。彼等は鐵道に關する重要資料の秘匿箇所を案内し、且つこれを整理し、また舊従事員を呼ぶ集め、その経験、技能を調査して記録し、或ひは鐵道資材の隠匿箇所を探してこれを通報する等、炎熱下皇軍によく協力の誠を盡した。彼等は上着のため酷暑には馴れてはゐるであらうが、早朝から夜晩くまで、この炎熱下によくも體が續くものだと感心させられたこともある。英人指揮の下では休養時間を請求し、また勤務時間中さへ與へられた事務をその日暮しに過してゐたであらう。彼等の過去を思ふと、休養時間も休日も區別なく、力をつくして皇軍に協力する姿には涙ぐましいものさへあつた。また鐵道沿線の部落の長に對し村民の持ち去つた鐵道資材の蒐集返却と鐵道の愛護とを説明すると、彼等は忠實に命を奉じてよく任務を遂行し、何一つ残つてゐなかつた野舎に日ならずして机が運び込まれ、線路修理器具が届けられ、どうにか運営し得る程度にまで物資が集つてきた。

また或る時は橋梁が破壊されて、折角手に入れた一輛の機關車を必要とする區間に渡し得ない。機關車は餘儀なくこれを橋梁附近に留置しなければならなかつた。心なき住民によつて折角確保した機關車の破壊されることをおそれ、この監視を部落の長に依頼したが、機關車に連結した客貨車の上にアンペラを敷いて、夜はこれにねて星を仰ぎつ、晝は炎暑の線路上に、隣りつゝ、部落民交互に出動して何の支障もなくこれを譲りとほした。また百キロ餘先の

しては國防も、また如何なる「國」の存立もあり得ない。日本内地二万キロの鐵道は蜿蜒としてビルマの鐵道にまで接続されなければならないのである。目下のところ支那南方、佛印タイの國境及びタイ・ビルマの國境に大きな不連続の空地を残してゐる。ビルマはこれ等の空地が満たされることによつて、はじめて固く日本に結び付けられることになさるわけである。

行南昭急特



彈丸列車が東京のどんな素晴らしいホームから飛出すか、今から想像するさへ楽しみだ！下開行き富士駅の出発

大東亞縦断鐵道 東京←昭南間行程表

1 東京→天津→上海→蘇州→蕪湖→タナブ→クムバワビー→タノンチラ→昭南	10,135料 未設843料
2 東京→サイゴン→フノンベン→バンコク→昭南	11,406料 未設690料
3 東京→北京→漢口→蘇州→蕪湖→タナブ→クムバワビー→タノンチラ→昭南	9,512料 未設843料
4 東京→サイゴン→フノンベン→バンコク→昭南	10,782料 未設590料

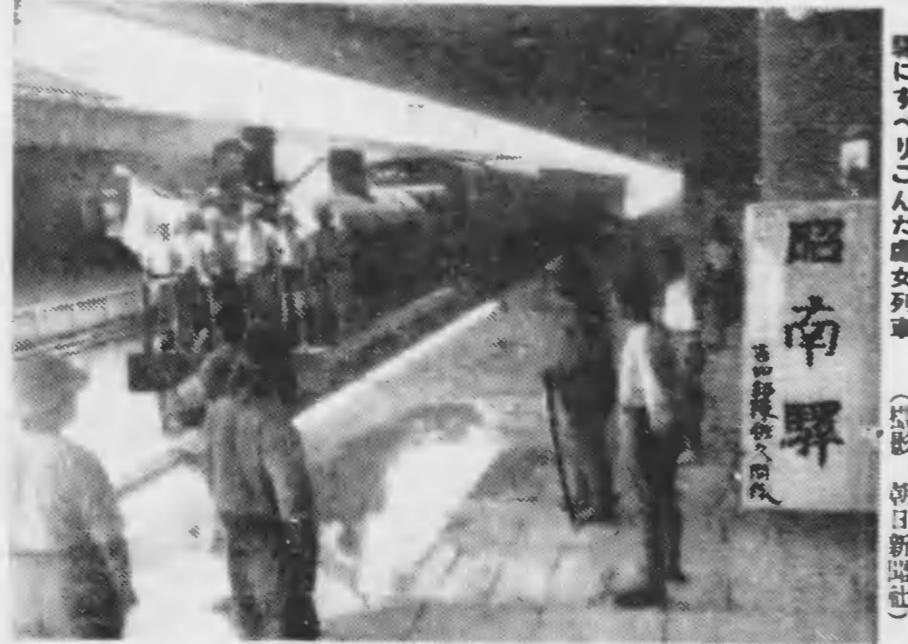


「ちやうど行つて来ます」とカバン一つで乗込んだり、列車が下開、京城、奉天、北京、廣東、ハノイ、サイゴン、バンコクを経て、ついにそのまゝ、スーッと昭南まで行けたら、どんなに素晴らしいことだらう。だが、この素晴らしい夢は十分私たちが生きてゐるうちに見られる正夢としての可能性をもつてゐる。

いや既に特急昭南行列車が計画されてゐる。こゝに掲げた地圖をみるとよく分るやうに先づその経路は、東京、下開、京城、奉天、北京、漢口、廣東、ハノイ、サイゴン、バンコク、昭南といふことになるのだが、こゝに困ることはその間鐵道が無い區間があることが一つ、日本内地の鐵道と、朝鮮、滿洲國、中華民國の鐵道と、佛印、タイ、マレーの鐵道とそれ／＼軌間(線路の幅)が異つてゐることが一つ、この二つの問題が解決されてはじめて東京仕立の彈丸列車は昭南驛に直通することになる。

ではこの問題をも少し具体的に考へると、先づ軌間の問題であるが、東京下開間に新たに朝鮮、滿洲國並びに國際標準軌間(四フィート八インチ)の鐵道が敷設されることは、過日協力合意で鐵道大臣が「既に一部起工しつゝあり、昭和二十九年完成の豫定」と聲明された通りである。その線は直ちに關門鐵道を抜けて長崎まで延長されるだらう。問題は朝鮮海峽海底鐵道である。その距離からいへば關門として世界空前のものではあるが、潮流の急激な海峽の底のことではあるし、その工事こそ人知れなかつて以來の最大の工事であることは言を俤たない。しかし丹那を抜き、關門を穿つた日本の鐵道建設技術である。必ずや萬難を排しても完成して見せるだらう。

朝鮮海峽海底鐵道は貫通したとする。列車は北九州の、恐らくその頃には北九州に東京、大阪に次ぐ大都會が生れてゐるに違ひない。その大部



終點の昭南驛またそのころはどんなに平和と活氣に溢れたつてゐることだらう！占領後開かない昭南驛にすべりこんだ處女列車 (朝日新聞社)

市からする／＼と朝鮮海峽の底を滑つて釜山あたりへ編を固すだらう。正に世紀のダイヴィンダだ。京城、奉天、天津を走つて北京に着く。一轉して京漢線を一踏漢口へ下る。こゝに第二の難關、揚子江が控へてゐる。こゝには對岸武昌との間に揚子江大鐵橋を跨らせる。これは前の海底鐵道に比較すれば大した工事ではない。然るに揚子江大鐵橋を渡つて粵漢線をさらに南へ廣東に着く。廣東と佛印の國境の間にはまだ鐵道がない。珠江を廻り南寧から滇南まで路線敷設が必要である。一メートル軌間の列車に乗りかへて、こゝから昭南まで路線が標準軌間になれば理想的だが、假りにこゝで車を一度して、南方の空氣を存分に吸ひこんでから國境を越えドンドン、ハノイを経て海岸線を南へサイゴンに達する。こんどはメコン河が邪魔をするが、これを横断する路線を敷設しフノンベンに達する。これから先は既設鐵道をバンコクを迂回、マレー半島を南へ、昭南驛に送り込む。

このほかに考へられる他の経路としては、天津より津浦線を下り浦口に至り、揚子江に河底大隧道を穿つて南京に出で、上海を経由杭州へ、さらに浙贛線を西へ、株州で粵漢線に接続し、粵漢線衡陽より柳州經由南寧まで、こゝから佛印に鐵道を新設して結ぶことが考へられる。

日本の鐵道開通して七十年、これから何年後にこの夢が實現するかは正確にいへないとしても、東京から昭南行特急の彈丸列車がつつ走る日のことを考へるとき、大型列車であり、また南方直行の列車であるから、冷房換氣設備を完備するものとならう。

大東亞戦争の戦果いよ／＼あがる一方、鐵道方面にこの劃期的計畫があるのは實に愉快ではないか

安倍貞一

貯蓄の戦「殊」に、甲勳殊の戦蓄貯

賞臣大理總く輝



「總理大臣官舎で東條總理から表彰状をうける貯蓄功勞者」

戦ふ日本にうちたてられた金字塔、國民貯蓄五百億圓突破を記念して、政府では貯蓄功勞者並びに優良團體を表彰することになり、かねて大蔵省で全國各道府縣にわたって調査選定中であつたが、このほど貯蓄の殊勳甲ともいふべき總理大臣賞三十一(個人二十氏、十一團體)、大蔵大臣賞二百八十九を決定、九月三十日總理大臣官舎で表彰式が行はれた。

受賞者を一瞥して先づ目につくことは、これら個人や團體が殆んど各階層を網羅してゐるといふことで、そこには大戦下國民貯蓄戦線の力強さが窺はれるが、さらに各個別に事蹟の内容を検討してみると、先づ大いに働いて、貯蓄するだけの餘裕をつくつてゐること、あらゆる角度から強行に貯蓄の増加をはかつてゐること、貯蓄の方法に新工夫を案出してゐること、婦人によるお臺所の改善、指導者の奔走奮闘等が大いに役立つてゐることがみとめられる。

こゝにその實例の一つとしてつねに目新しい方法を考へて、貯蓄に努めてゐる奈良縣宇智郡五條町の貯蓄作戦を紹介しよう。



法以外に何れも新しい方法を考へ出さなければならなかつた。それが町長發案の「撃てばひびく」ところの「感謝貯蓄」となつて現はれ昨年四月から實行されてゐる。全町四十の町内會のうち町内によつて多少の違ひはあるが平均して飛行機一臺撃破は五錢、軍艦一隻撃破は二十錢、要塞等の陥落占領は五十錢、その他、戦果に應じて貯金し、組長さんがこれを集めて國民貯蓄にふりあててゐる。だからこの町では前線の勇士が弾丸や爆弾を飛び出させるのと同じく、貯蓄の弾を飛び出させて前線と共に闘つてゐることになる。

新築衣料切符貯蓄

名古屋助役苦心の創案による衣料切符貯蓄といふのはこの二月、衣料切符制實施とともに始められたもので、八十點の點數も成るべ



貯金をするといふ物言愛護と貯蓄の一事二鳥案で、靴下一足ならば二點で十錢、刺繍着ならば八點四

「『ま考へてひますのは』と名古屋助役がそつと床中からとり出したのは現在、結婚用として新衣料切符を五枚下附されることになつてゐるが、これを三枚にして、どうしてもそれ以上欲しい人には、一枚について百圓の國債を買つて貰ふことにしようといふのだ。なんと妙案ではないか」

婦人 職士

この邊で町全體の買物運動の運営について説明すると、まづ月末二十九日に買物會町支部常務委員會を開いて、この町としての翌月の買物の案を決定する。次いで一日には町常會を開いて、その案を審議決定、三日にこれを町内會長に傳へられる。この時「感謝貯蓄」のための大本營發表の戰果を一ヶ月分まとめて役場から發表

十錢の貯金といふ風に毎月組長さんが切符を調べて、使つた分だけ貯金を集めて國民貯蓄にふりあてられる。

「この重大時局に一點五錢では少のおまつしやろ」とばかりに、特別に貯金制度を設ける家庭もあつて、子供は最低五錢、娘さんは一點二十錢、御主人はそれ以上といふ重税をかけて、貯蓄戦を激闘する一方、消費を押へる家庭も續出して、切符の使用數も他の町村にくらべてグッと減つた。

「買物に五條町の人ですか、お歸りになつたら是非いくらく貯金して下さいよ」と他町村の人もこの運動に側面から応援してくれて、輝かしい成績がぐんぐん昇つていく



し、六日までには各家庭に傳達されて、感謝貯蓄、衣料切符貯蓄その他のことが實行されるといふ仕組だ



國債、債券消化の場合、どうしても割當られた額を消化できないといふ家庭があつた。その場合に

は役場から婦人貯蓄戦士が派遣された。野口さんがこの役で、この役を承つた婦人戦士は相手の家庭へ出かけ、主婦と懇談の上、貯蓄戦の意義や必要を説いてぜひ割當額を消化して貰ふ等、「女は女同士」の言葉通り婦人の指導は女手どしどし、教育されてゐる。

豆戦士たちも

「オギヤア」と一人の第二國民が生れることに田中町長から出資お祝として金一圓也を預け入れの郵便貯金通帳が贈られる。

「この子のために」と積まれる主婦の貯金は、やがてこの家のため、國家のため、否、大東亞のためになる意義ふかい贈

物だ

また學童貯蓄といふのがある。前町長栗山氏が千八百名の學童に贈つた貯金箱に、豆戦士達はお小遣や、物産吉野薯を紙袋に入れて内職で貰ふ金やらを貯金して取附すれば、受持指導はこれを毎月開いて郵便貯金にして通帳を兒童に渡す、また金屬回收の際の賣拂代金はこれを全部貯蓄させ、どうしても必要な代用品買入金だけ渡すなど、全町これ貯金の塊りのやうなものだ

失敗もある

新工夫と創意、これには苦心と失敗がつきものだ。御多分にもれず五條町にも失敗はあつた。全配給品を高く買ふ運動、五錢の物なら六錢に、といふ風に割増に買つて、割増の分だけ貯蓄しようといふのだが、これは計算が甘い、こゝでどうもならんといふこと



で失敗。また會合等で菓食をとる場合、一人五十錢の豫算なら、内二十五錢の物を食べて残りを貯金する、これもその程度が六ヶし

くても實行不可能となつた

「やつぱり、形に現はれるものでなければあきませんア」と名古屋助役は破顔一笑した

天誅組精神

時局産業ひとつ無い、どちらかといへば平凡な、二十年前も現在も人口一萬のこの町では、このやうに創意をこらして取附する精神はどこから生れるのだろうか? それは大和の五條町の土地柄ともいへる

建武の中興に重大な役割を果した千早城のある金剛山の山麓にあり、明治維新の魁となつた天誅組では乾十郎、井澤宜庵、森田節齋の三志士を出し、わが國の重大時局にはいつも推進的な役割を演じた土地であり、傳統がある

指導者も町民も體當りで、戦地にゐる氣持で事をなした。これこそ天誅組精神の具現であつて」とこの度の總理大臣賞に輝く榮譽を田中町長は誇つてゐる

新しい時代は、若い者が先頭に立つての實踐として町長四十一歳、名古屋助役三十六歳と若い力で押切る一方、青年團員から優秀な者を選んで天誅組で錬成し、新しい指導者をどしどし送り出さうとしてゐる。この若い力が貯蓄戦においては現在の組合員一人當り貯蓄額百五十二圓を乗り越して新しい大きな目標に向つて邁進しようとしてゐる

15

資金十一億円の大家さんが 勤労者におくる住宅



諸君も少しの辛抱だ。やがてここに君達の楽しい生活が築かれるのだ。重要産業地帯を中心とした最近の住宅難は、折角生産擴充のために離身される産業戦士諸君に、のび／＼と足をのばして十分の休養をとつて働く大事な憩ひの場所すら思ふまゝに手に入らないといふやうな状態となつてゐます。この住宅難を少しでも緩和し、と、誠心として厚生省が主となつて種々の対策を講じてきました。例へば會社や工場へ勤務者用寄宿舎や住宅の建設をすすめ、これに必要な資金や資材の斡旋をするとか、地代、家賃等を統制して消極的に住生活を保護する等といふ方法をとつてきたのでした。だが、これだけではとてもこの住宅難を切りぬけられるものではありません。そこで政府が積極的に貸家建築のお手傳ひをしようといふのできた大家さんが、一億圓の資本と十億圓の住宅債巻を以て仕事をはじめた特殊法人「住宅營團」です。

この營團は、本年中に三万戸、五ヶ年間に三十万戸の建設を目指して不足勝ちな資材難と闘ひながら、強力な活動を開始しました。東京、大阪等を中心に勤務者、勤



勞者のための最も合理化された集團住宅が五十戸、百戸、數百戸と續々建設されてをり、すでに關東地方では木更津、檢見川、志村、田無、三鷹等續々と低廉な家賃で貸附けられ、楽しい生活が営まれてゐます。

簡素な家屋ながら、廣々とつた空地、明るい部屋、便利な間取り等、居住者の好評を博してゐますが、ゆ〜／＼は兒童遊園、共同菜園、共同浴場、集會場等の厚生施設も作られ、共同生活の眞價を發揮してゆくことになり、住宅問題の解決に明るい光を投げてるのです。

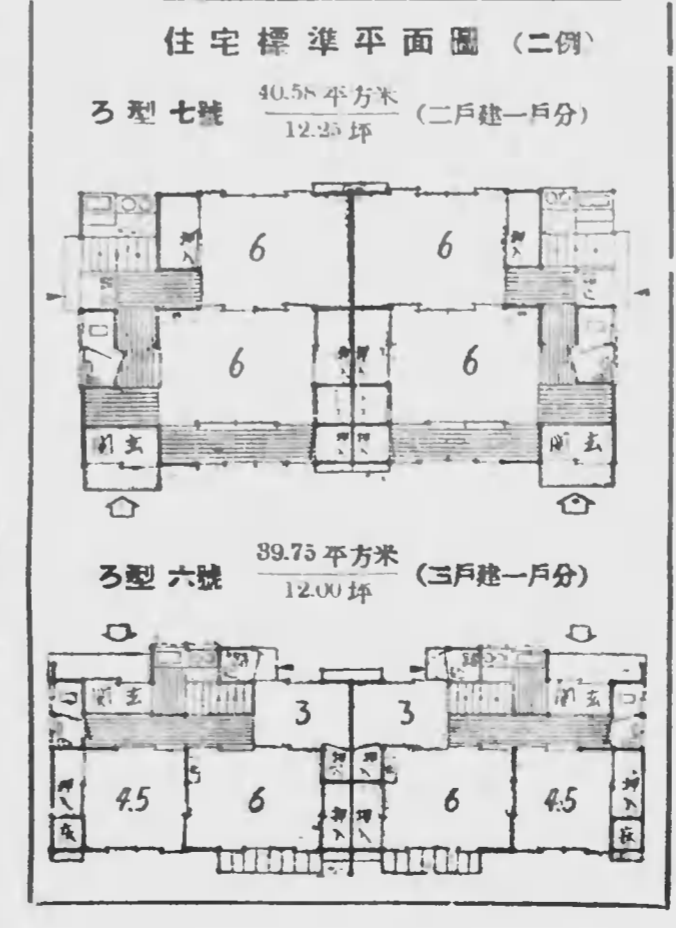
管理者の餘の資が共同購入の野菜配給を知らせて廻り

主婦達がいそ／＼と秋の味覺を分け合ふ。集團住宅の形式がいつの間にか個人本位の型をとりさり、諸君の生活を私生活の愉しから公生活の愉しさへ導き引き上げてゆく



すでに貸付られた集團の住宅では、ほゞ美しい數々の共同生活が展開されてゐる。

簡陋的に設計されてゐる。通風も、採光も、十分に考へられてゐる。極端に簡素であるが美しい。これが諸君の住宅だ。



さあどしく申込んで呉れ給へ



軍服ぬいで伴も獲り入れ

収穫援助に陸海軍當局の協力

東部第二十三部隊

「わしらが手たけても十分出来たのに、勿體ないことだ」父親牛次さんは、田邊上等兵が早速脱いだ軍服に着替るにふれてみる

撮影 梅本 忠男

久し振りの家だ。気がつく、たかはや農に隣つた心はなに
 ◁ 先づ田圃へ―西浦原郡野村出身の田邊上等兵



中隊長に陣中告、中隊長も、十日間の休暇を無駄せぬやう
 ◁ くれぐれも敵にあらと同心で―と訓解される



一刻も無駄にすまい。さうだ、銃とる心で、落ちつく暇もなく
 ◁ 野良に飛び出した田邊上等兵は野かな稲りに戦ひを挑んでゐる



稔りの秋だ。収穫に備の手も借りたほど忙しい。それは今年が苦闘の實が結んで豊年産作七千万石の重さがすつしり農家の肩にかいつてゐる。もう一息。どうしてもこの大増産を確保しよう。腰の曲つたおばあさんまで野良に出る意気どみ。その野良へ、軍隊にいつてゐる体が特別に休暇をいたゞいて馳せつけた。町からは中學生や女學生が繰り出し、稲刈りに、稲運びに、そして託児所の繰母代りに、共同炊事の兵站部を受けもつた。都合からは間もなく角帽部隊も到着するといふ嬉しい話。豊作の喜びに沸く農家はまた思ひかけぬ援軍に歓呼をあげたもう大丈夫、さあみんなて頑張るぞ。

近年にみぬ豊かな稔りの秋を迎へて、さきに陸海軍當局は、戦時食糧問題の重責性に鑑み、軍務まことに一端をきかめてゐるさ中にもかいはらず、収穫援助のため内地在籍の下士官、兵の一部に特に休暇を與へて陣中させ、文部當局も、下は國民學校から、中等學校、高等、大學にいたる大部隊を動員してこれに應へたが、この三者一體、いや國の總力をあげて戦時下の食糧確保に突進する姿を現地に求めて米産地新潟を訪れてみた

一日働き詰めたあとで勤務日誌をつける。十日間にあげた結果を、中隊長殿にお見せしなくては...



も生学女でいぬ服制

力協も局當部文に助援穫收

校學女等高科實根白縣潟新

乙女たちは何時も明るい。
勤む仕事に精出す時も
さうた、奉仕する喜びが
母明るさまをまじりてゐるのだ

刈る者、運ぶ者、稲架に掛ける者、
みんな気が揃つて面白いやうに仕
が通む。煩悩も汗も忘れて



⇨ 勤勞報國の旗を先頭に堂々乙女部隊の進發だ。汗
の奉仕を續け、彼女たちは立派に鍛成されてゆく
子供のお守りはおてのもの。弟々、妹たちをみる
やうに一生懸命をほらせて



撮影 橋本 忠男

東京新聞 昭和十七年十一月十日 郵政省特許第七千七百四十四号 郵便局特許第七千七百四十四号 第四〇〇号

大東亞戰爭 國債

日二月一十日二十二月十 出賣局便郵

貯蓄債券 戰時 報國債券

日十月一十日五十月十 出賣

示せ貯蓄の底力!

行銀業勸・行銀本時・省信選・省蔵大

内閣印刷局印刷發行

別冊附送-A4紙製定額は5000円